

県産日本酒 若者いかが？

崇城大（熊本市西区）芸術学部デザイン学科の学生5人が10月26日夜、中央区の白川河川敷であった白川夜市で、若者に日本酒を楽しんでもらうために考案した屋台「いちげんさん」を出店した。

熊本酒造組合が2月に開いたコンテストで、日本酒を飲んだことのない人に向けた屋台設置を学生チームが提案。お薦めの日本酒を、常連客がおくるアイデアが、5大学15チームの中から最優秀賞に選ばれた。

いちげんさんでは、熊本県産の9銘柄の日本酒を冷や、熱かん、トニックウォーター割りの中から好きな組み合わせを3杯千円で提供した。客からおいしい飲み方を尋ねられたスタッフは、「トニック割りで飲んでみて」と薦め、酒にまつわる会話も楽しんだ。

企画したメンバーの一人で4年生の碩本采佳さん（22）は「お酒があるとコミュニケーションも取りやすく楽しい。若い人の利用も多く、日本酒に親近感を持ってもらえた」と話した。（米本充宏）



白川夜市で日本酒などを提供する崇城大の学生
＝10月26日、熊本市中央区